

静岡市上下水道事業経営協議会(料金改定に係る議論) スケジュール

開催	開催日	説明、議題(予定)	委員の皆様 に議論いただきたい内容(予定)
第3回	8月29日(金)	・改定の方向性 (料金体系の考え方、利用者間の負担バランス等) ・具体的な料金・使用料設定案	・(前回の議論を踏まえて) 改定の方向性について ・具体的な料金・使用料設定について
第4回	10月31日(金)	・具体的な料金・使用料設定案 (前回の議論を踏まえた修正案) ・意見書の内容案	・(前回の議論を踏まえて) 具体的な料金・使用料設定について ・意見書の内容案について
第5回	12月19日(金)	・意見書の内容案	・意見書の決定について

※上記内容は現時点での想定スケジュールであり、議論の進捗等により今後変更する可能性があります。

令和7年度 第3回 静岡市上下水道事業経営協議会

議題(2) 水道料金・下水道使用料改定について

2025.8.29

目 次

1. 前回の振り返り
2. 委員の皆様からのご意見

1. 前回の振り返り

●改定の経緯

- ・静岡市は、能登半島地震の経験から、上下水道一体の『選択的線的耐震化』の重要性を改めて認識。
- ・南海トラフ地震の今後30年以内の発生確率が80%に引き上げられたこともあり、耐震化を加速することが必要であるため、現在の耐震化の状況と必要な工事期間等から事業計画を見直した。
- ・具体的には、「2035年の目指す姿」を、災害時においても災害拠点病院、災害対策本部、中学校区1箇所の避難所（給水拠点）にて給排水ができる状態とし、2036年以降は各地区の給水拠点を増やし、2040年には小学校区に最低1箇所の避難所（給水拠点）において給排水ができる状態とすることとした。
- ・一方、物価や労務単価等の高騰により、経営に必要な費用が増加している中、従前から行っている老朽化対策の実施も必要。

老朽化対策に加え、耐震化事業を2040年までの期間で集中投資し実施していくにあたり、将来の財政見通しを試算したところ、**水道料金・下水道使用料を改定する必要**が生じた。

●事業費と財源の見込み

投資集中期間(15年間)の総費用
10,957億円(水道:4,135億円 下水:6,822億円)

【内訳】

- ・耐震化対策 1,509億円
(水道:993億円 下水:516億円)
- ・老朽化対策等 2,121億円
(水道:681億円 下水:1,440億円)
- ・企業債償還 1,906億円
(水道:540億円 下水:1,366億円)
- ・維持管理経費 5,421億円
(水道:1,921億円 下水:3,500億円)

投資集中期間(15年間)の財源合計
9,926億円(水道:3,538億円 下水:6,388億円)

【内訳】

- ・国庫補助金 427億円
(水道:108億円 下水:319億円)
- ・企業債 2,219億円
(水道:885億円 下水:1,334億円)
- ・一般会計繰入金ほか 2,426億円
(水道:229億円 下水:2,197億円)
- ・留保資金 2,277億円
(水道:986億円 下水:1,291億円)
- ・料金・使用料 2,577億円
(水道:1,330億円 下水:1,247億円)

水道料金、
下水道使用料
収入として必要な額
総額 1,031億円

15年間で1度の改定
(2026年6月)とする場合

平均改定率で
水道料金は約+50%、
下水道使用料は約+40%
の改定が必要

1. 前回の振り返り

●改定の方角性(改定の周期等)

15年間で1度の改定の場合では改定額が大きいことと、世代間の負担の公平性を考慮し、投資集中期間(15年間)を3～5年で分割し、段階的に複数回改定することとする。

・改定周期と改定率(3年毎、4年毎、5年毎)

① 水道料金

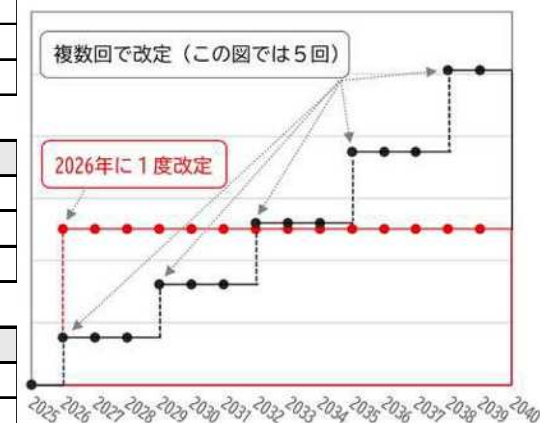
改定周期	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039
3年		+15.3%			+15.3%			+15.3%			+15.3%			+15.3%	
4年		+19.1%				+19.1%				+19.1%				+19.1%	
5年		+23.3%					+23.3%					+23.3%			

② 下水道使用料

改定周期	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039
3年		+15.2%			+15.2%			+15.2%			+15.2%			+15.2%	
4年		+18.4%				+18.4%				+18.4%				+18.4%	
5年		+21.6%					+21.6%					+21.6%			

③ 水道料金と下水道使用料の合算

改定周期	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039
3年		+15.2%			+15.2%			+15.2%			+15.2%			+15.2%	
4年		+18.7%				+18.7%				+18.7%				+18.7%	
5年		+22.4%					+22.4%					+22.4%			



・事務局案【改定周期は3年】

15年間での線的耐震化を推進していく中で、より短い周期(3年間)で料金改定を行っていくことにより、社会情勢の変化や、事業進捗に応じた費用負担とすることが出来る。

また、1回の改定率は3年で行う方が他の周期よりも抑えられ、市民の改定1回あたりの負担は小さくすることが出来る。

1. 前回の振り返り

●改定の方性(料金体系)

・現行水道料金表

基本料金と従量料金からなる二部料金制

口径	基本料金 (円/月)	従量料金 (円/㎡)					
		1～10 ㎡	11～20 ㎡	21～50 ㎡	51～100 ㎡	101～ 500㎡	501㎡～
13mm	770						
20mm							
25mm	1,100						
30mm							
40mm	2,882						
50mm		66.0	117.7	156.2	181.5	201.3	214.5
75mm	5,764						
100mm	11,407						
150mm	20,427						
200mm	51,722						

・現行下水道使用料表

基本使用料と従量使用料からなる二部料金制

基本 使用料 (円/月)	従量使用料 (円/㎡)								
	0～10 ㎡	11～20 ㎡	21～30 ㎡	31～50 ㎡	51～ 100㎡	101～ 200㎡	201～ 500㎡	501～ 1000㎡	1001㎡ ～
1,017.5	38.5	137.5	159.5	176.0	192.5	209.0	220.0	231.0	242.0

従量料金は、大量利用者に合わせた施設を整備する必要から、使用水量が多くなるほど単価が高くなる「逓増料金制」として

水道の基本料金は口径別料金(下水道は基本的に同一口径のため口径別料金にしていない)

- ・基本料金と従量料金からなる現行料金・使用料体系(水道は口径別)は、水道・下水道とも創設時から、水道の口径別は旧静岡市は1997年から、全市的には2008年から採用されている。
- ・他都市(19政令市及び21県内市町)でも、基本料金と従量料金からなる体系を全市町で、水道の口径別も大阪市と川崎市を除く全市町で採用している。
- ・従量料金の設定では、静岡市は使用水量が多いほど単価が高くなる体系(逓増料金制)を採用しており、他都市(19政令市及び21県内市町)においても全市町が採用している。

⇒以上により、現行の料金体系は静岡市も含め広く受け入れられているため、基本料金と従量料金(水道は口径別)と逓増料金制の現体系を踏襲する。

2. 委員の皆様からのご意見

・前回(第2回協議会)の水道料金・下水道使用料改定の説明に関する各委員からのご意見の内容

No.	御意見
1	(会議内質疑より)国交省の建設工事費デフレーターは、将来的な見込まで出ているものか、それともただ過去のデータをもとにしたものなのか確認したい。
2	(第2回上下水道事業経営協議会資料2-2 p6) 財源試算表について、水道・下水道を比べると当然といえるところもあるかもしれませんが、数字のバランスがよくわかりません。例えば、下水道は水道に比べ耐震化対策は約半分弱、留保資金は1.3倍ほどです。そのあたりの理由を教えてください。
3	(第2回上下水道事業経営協議会資料2-2 p11) 5年ごとの周期のデメリットとして社会状況の急変に対応が困難とありますが、3年ごとだと対応が容易だということでしょうか。そうだとすれば改定率が3年ごと一律15%と表現することに矛盾が出てきます。
4	耐震化及び老朽化対策のために料金改定は必要不可欠であると思います。 改定周期に関する具体的な意見はありません。 参考資料の他都市との比較は、口径別および水量別の改定率算定における重要な根拠となると考えます。
5	水道料金が値上がりするのは仕方がないと思いますが、数年おきの値上がりよりは5年(ごと)の値上がり1回の方がいいです。不景気のなかでの値上がりはホントに(家計が)逼迫するとおもいます。
6	水道水の安定供給無くして、市民生活は成り立ちません。これからの人口減少を踏まえれば、料金改定は止むを得ないとかんがえます。同時に中量、大量使用者への改定に着手すべきだと思う。
7	水道事業で稼ぐ方策がないものか、検討してもよいのでは？
8	全ての物価が上がっている中、価格改定を理解できても、お財布事情が厳しい方々が多くいらっしゃるのが現実だと思います。世代間の公平を考慮していただく案、お手間かけますが、この様な対応が良いのかも…悩ましいです。

令和7年度 第3回 静岡市上下水道事業経営協議会

議題(2) 水道料金・下水道使用料改定について

追加資料

2025.8.29

目 次

1. 現行料金・使用料の大都市比較と改定の方方向性
 2. 水道料金の設定案
 3. 下水道使用料の設定案
- ほか、参考資料

1. 現行料金・使用料の大都市比較と改定の方向性

●現行料金・使用料の大都市比較と改定の方向性(利用者間の負担バランス)

現行の静岡市の水道料金、下水道使用料は、大都市(20政令市、東京都: 2025.4月時点)と比較すると以下のような特徴がある。

(税込み・1か月・2025年4月1日時点 ※相模原市、浜松市、名古屋市は2025年10月改定予定分)

【水道料金(1か月:税込)比較】 少量利用者上から11・16番目、中量利用者21番目、大量利用者21番目

少量						中量						大量					
20mm/10m ³			20mm/20m ³			25mm/100m ³			40mm/500m ³			50mm/1000m ³			75mm/5000m ³		
順位	都市名	水道料金	順位	都市名	水道料金	順位	都市名	水道料金	順位	都市名	水道料金	順位	都市名	水道料金	順位	都市名	水道料金
1	新潟市	3,575	1	新潟市	5,005	1	福岡市	34,749	1	福岡市	245,938	1	福岡市	530,486	1	福岡市	2,957,746
2	仙台市	2,255	2	仙台市	4,290	2	札幌市	34,045	2	千葉市	213,900	2	千葉市	465,310	2	横浜市	2,470,820
3	岡山市	1,738	3	札幌市	3,652	3	千葉市	30,910	3	さいたま市	203,720	3	さいたま市	446,710	3	千葉市	2,426,280
4	福岡市	1,650	4	さいたま市	3,498	4	さいたま市	30,525	4	横浜市	202,895	4	横浜市	433,455	4	相模原市	2,365,270
5	千葉市	1,600	5	岡山市	3,366	5	横浜市	30,412	5	札幌市	198,110	5	東京都	431,992	5	さいたま市	2,237,840
6	さいたま市	1,573	6	福岡市	3,355	6	相模原市	28,161	6	神戸市	186,615	6	札幌市	403,700	6	東京都	2,236,985
7	名古屋市	1,529	7	千葉市	3,250	7	名古屋市	27,808	7	東京都	186,521	7	神戸市	393,855	7	神戸市	2,152,425
8	熊本市	1,529	8	名古屋市	3,124	8	堺市	25,740	8	相模原市	180,303	8	相模原市	376,437	8	札幌市	2,085,600
9	浜松市	1,485	9	相模原市	3,070	9	仙台市	24,970	9	名古屋市	179,663	9	名古屋市	368,885	9	大阪市	1,928,212
10	札幌市	1,452	10	横浜市	3,017	10	広島市	24,623	10	堺市	165,220	10	大阪市	353,012	10	川崎市	1,921,518
11	静岡市	1,430	11	京都市	3,014	11	神戸市	24,475	11	大阪市	164,912	11	川崎市	350,718	11	名古屋市	1,846,504
12	東京都	1,408	12	熊本市	3,014	12	岡山市	23,232	12	仙台市	162,855	12	堺市	347,820	12	堺市	1,819,620
13	相模原市	1,370	13	神戸市	2,926	13	川崎市	22,918	13	川崎市	162,068	13	仙台市	339,845	13	広島市	1,727,055
14	堺市	1,122	14	東京都	2,816	14	京都市	22,033	14	広島市	160,902	14	広島市	336,050	14	仙台市	1,718,585
15	神戸市	1,111	15	浜松市	2,706	15	熊本市	21,824	15	熊本市	143,935	15	熊本市	308,385	15	北九州市	1,683,165
16	北九州市	1,100	16	静岡市	2,607	16	東京都	21,087	16	北九州市	141,955	16	北九州市	306,229	16	熊本市	1,591,535
17	横浜市	1,070	17	堺市	2,464	17	新潟市	20,812	17	岡山市	136,180	17	京都市	292,820	17	京都市	1,550,351
18	京都市	1,067	18	広島市	2,453	18	浜松市	20,713	18	京都市	128,051	18	岡山市	280,500	18	岡山市	1,411,850
19	大阪市	1,045	19	北九州市	2,442	19	大阪市	19,822	19	浜松市	123,475	19	浜松市	256,113	19	浜松市	1,288,804
20	広島市	946	20	川崎市	2,321	20	北九州市	19,239	20	新潟市	117,403	20	新潟市	244,222	20	新潟市	1,227,424
21	川崎市	792	21	大阪市	2,112	21	静岡市	16,698	21	静岡市	99,000	21	静岡市	209,132	21	静岡市	1,072,775

少量利用者の
料金は中位

中量・大量利用者の
料金は最も安い

※利用者の区分(想定)

- ・少量利用者:主に一般家庭等、使用水量10~20m³程度
- ・中量利用者:主に飲食店、コンビニ、営業所、スーパー、事業所、使用水量100~500m³程度
- ・大量利用者:主に学校、病院、商業施設、社会福祉施設、大規模事業所、使用水量1000~5000m³程度

1. 現行料金・使用料の大都市比較と改定の方角性

【下水道使用料(1か月:税込)比較】 少量利用者上から2・5番目、中量利用者15・16番目、大量利用者16・17番目

少量						中量						大量					
10m ³			20m ³			100m ³			500m ³			1000m ³			5000m ³		
順位	都市名	下水道使用料	順位	都市名	下水道使用料	順位	都市名	下水道使用料	順位	都市名	下水道使用料	順位	都市名	下水道使用料	順位	都市名	下水道使用料
1	浜松市	1,661	1	新潟市	3,047	1	広島市	29,491	1	広島市	218,141	1	広島市	477,741	1	広島市	2,655,741
2	静岡市	1,402	2	岡山市	3,011	2	川崎市	25,949	2	川崎市	195,679	2	川崎市	424,589	2	川崎市	2,360,589
3	新潟市	1,309	3	浜松市	2,948	3	福岡市	25,421	3	福岡市	174,361	3	横浜市	382,976	3	岡山市	2,245,416
4	堺市	1,281	4	堺市	2,821	4	堺市	24,491	4	堺市	171,891	4	岡山市	379,816	4	福岡市	2,210,461
5	岡山市	1,273	5	静岡市	2,777	5	岡山市	23,636	5	横浜市	169,026	5	福岡市	375,661	5	横浜市	2,180,160
6	熊本市	1,036	6	福岡市	2,651	6	横浜市	23,606	6	仙台市	164,783	6	仙台市	372,683	6	仙台市	2,159,083
7	福岡市	979	7	さいたま市	2,459	7	北九州市	22,878	7	岡山市	164,216	7	堺市	369,891	7	北九州市	2,112,108
8	相模原市	963	8	熊本市	2,346	8	千葉市	21,599	8	北九州市	152,458	8	さいたま市	341,677	8	堺市	2,107,891
9	さいたま市	919	9	広島市	2,260	9	名古屋市	20,229	9	さいたま市	148,077	9	北九州市	321,308	9	さいたま市	2,035,677
10	名古屋市	869	10	北九州市	2,248	10	さいたま市	19,817	10	千葉市	145,679	10	千葉市	318,379	10	千葉市	1,951,879
11	東京都	858	11	川崎市	2,156	11	新潟市	19,492	11	東京都	132,748	11	東京都	303,248	11	東京都	1,821,248
12	千葉市	853	12	千葉市	2,140	12	仙台市	18,813	12	名古屋市	132,429	12	新潟市	300,432	12	新潟市	1,682,032
13	広島市	786	13	東京都	2,068	13	東京都	18,348	13	新潟市	127,732	13	名古屋市	275,429	13	熊本市	1,575,792
14	仙台市	773	14	相模原市	2,036	14	熊本市	18,008	14	熊本市	114,387	14	熊本市	261,050	14	名古屋市	1,419,429
15	京都市	770	15	横浜市	2,035	15	静岡市	17,517	15	神戸市	106,975	15	神戸市	235,675	15	神戸市	1,384,075
16	川崎市	748	16	京都市	2,013	16	浜松市	16,830	16	静岡市	104,417	16	静岡市	219,917	16	相模原市	1,248,259
17	横浜市	737	17	仙台市	1,917	17	京都市	15,763	17	京都市	102,223	17	京都市	219,373	17	静岡市	1,187,917
18	北九州市	697	18	名古屋市	1,914	18	相模原市	14,499	18	浜松市	98,230	18	浜松市	205,480	18	京都市	1,156,573
19	札幌市	660	19	神戸市	1,760	19	神戸市	14,245	19	相模原市	95,459	19	相模原市	205,459	19	大阪市	1,123,430
20	神戸市	660	20	札幌市	1,397	20	札幌市	11,484	20	札幌市	82,874	20	大阪市	177,430	20	浜松市	1,115,180
21	大阪市	605	21	大阪市	1,276	21	大阪市	11,000	21	大阪市	78,430	21	札幌市	175,274	21	札幌市	1,050,874

少量利用者の
使用料は高め

中量・大量利用者の
料金は安め

- ・今回の改定は、主に南海トラフ地震に備え、災害拠点病院や災害対策本部、避難所等の重要施設への給排水に係る耐震対策を加速的、集中的に行うことによるものであるため、市民全体に整備効果をもたらすものであることから、一部の利用者のみの改定ではなく、利用者全体を対象に一定の改定が必要であると考え。
- ・現行では、大都市と比較すると、少量利用者は料金等が高く、中・大量利用者は安い状況であることから、利用者間の負担バランスを見直す必要がある。

⇒全利用区分で増額の改定とするものの、他都市と比較し安価となっている中量～大量利用者の改定率を高めに、少量利用者の改定率を低めに設定することとする。

2. 水道料金の設定案

・改定の方向性を踏まえ、具体的な水道料金・下水道使用料の設定を行う。

※水道料金については、下水道使用料に合わせ1,001m³以上の従量料金単価を追加することで、現行の体系より水量による金額の差が一層出るようにし、水量が少ない利用者の負担を抑える。

水道料金改定案（詳細：資料4－4参照）

・**案1(一律案)**：基本料金及び従量料金の現行単価に、一律に平均改定率を増加させたもの

- 【メリット】 一律改定のため、口径・使用水量にかかわらず同じ率の負担増であり、全ての利用者の負担が増加することから、一定の公平感がある。
- 【デメリット】 現行料金から利用者間のバランスは解消されず、他都市と比べ、少量利用者は高め、中大量利用者は安めの金額となる。

・**案2(逡増案)**：基本料金は口径が大きくなるほど改定額を増加し、従量料金は使用水量が増えるほど改定額を増加させたもの

- 【メリット】 少量利用者の改定率を抑えつつ、他都市より安い中・大量利用者の負担が増加することから、利用者間の負担バランスを解消でき、現行よりは公平感のある料金水準となっている。
- 【デメリット】 使用水量が多いほど、値上げ額が大きくなるため、改定案3案の中で大量利用者の負担が最も大きい。

・**案3(従量2段階平準化案)**：基本料金は口径が大きくなるほど改定額を増加し、従量料金は20m³以下と、20m³超で、おおむね2段階で改定額を増加させたもの

- 【メリット】 少量利用者の改定率を抑えつつ、他都市より安い中・大量利用者の負担が増加することから、利用者間の負担バランスを一定程度、解消することが出来る。
改定案2と比べて、中・大量利用者の負担が少ない。
- 【デメリット】 改定案2より、少量利用者の負担がやや大きい。

・事務局案【案3】

理由 少～大量各利用者の負担の増加について、配慮しながらも利用者間の負担バランスを一定程度、解消できているため。3

2. 水道料金の設定案

●水道料金改定案比較（1か月:税込）

区分		少量		中量		大量	
		単身世帯	一般家庭 (2～3人世帯)	飲食店、コンビニ 営業所、店舗	スーパー 事業所	学校、病院、商業施設、 社会福祉施設、大規模事業所	
		20mm/10㎡	20mm/20㎡	25mm/100㎡	40mm/500㎡	50mm/1,000㎡	75mm/5,000㎡
現行料金		1,430円	2,607円	16,698円	99,000円	209,132円	1,072,775円
案1	料金	1,646円	2,999円	19,242円	114,137円	241,210円	1,237,716円
	値上額	216円	392円	2,544円	15,137円	32,078円	164,941円
	改定率	15.1%	15.0%	15.2%	15.3%	15.3%	15.4%
案2	料金	1,502円	2,745円	21,252円	128,026円	274,564円	1,431,993円
	値上額	72円	138円	4,554円	29,026円	65,432円	359,218円
	改定率	5.0%	5.3%	27.3%	29.3%	31.3%	33.5%
案3	料金	1,549円	2,825円	20,570円	122,030円	257,974円	1,322,721円
	値上額	119円	218円	3,872円	23,030円	48,842円	249,946円
	改定率	8.3%	8.4%	23.2%	23.3%	23.3%	23.3%

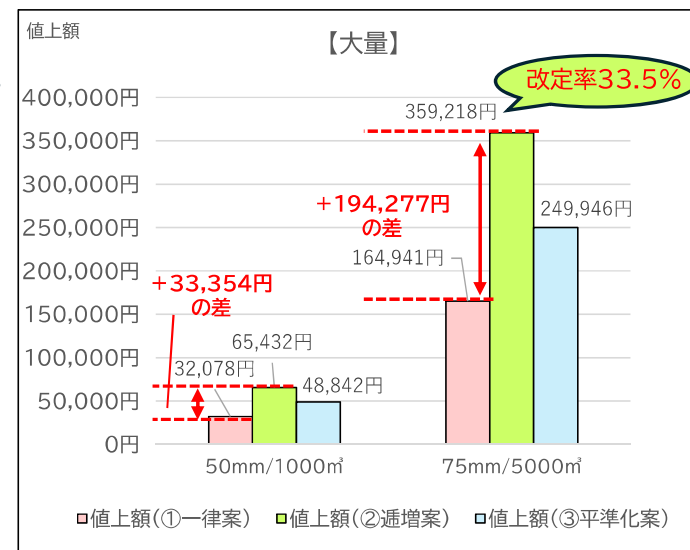
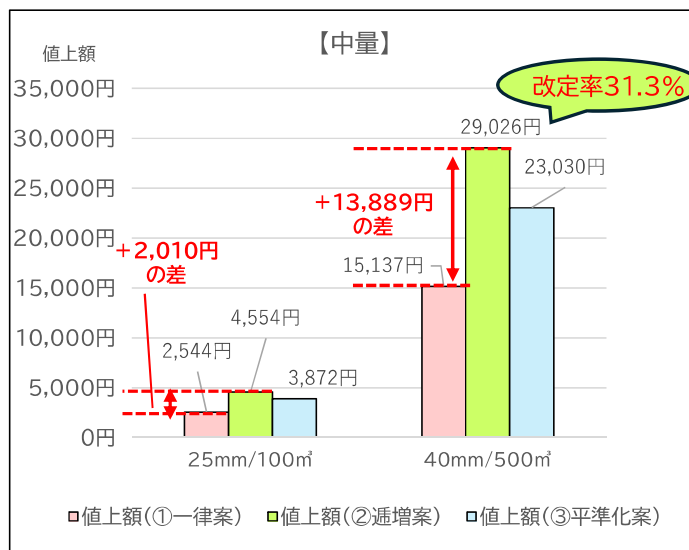
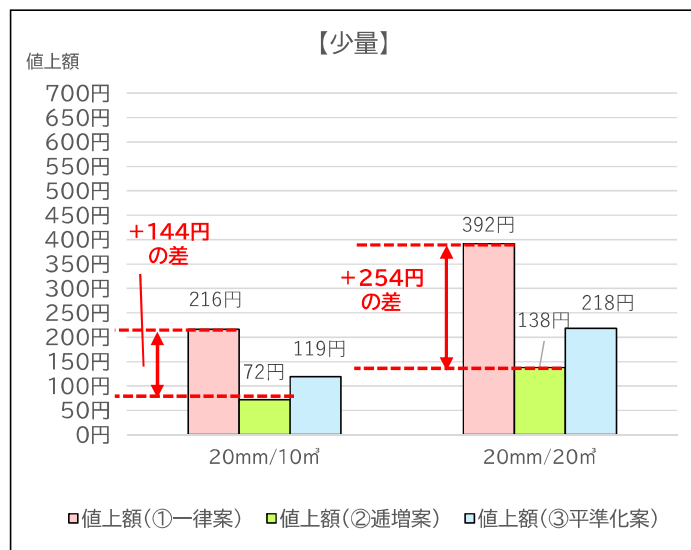
一律

逦増

2段階
平準化

2. 水道料金の設定案

●改定案ごとの値上額の比較(1か月:税込)



- ・改定案①(一律案)は3案の中で少量の値上げ額が一番高いが、中・大量の値上げ額は一番低い。
- ・改定案②(逦増案)は3案の中で少量の値上げ額が一番低いが、中・大量の値上げ額は一番高く、**改定率が30%を超えている。**
- ・改定案③(平準化案)は3案の中で少量、中・大量全ての値上げ額が2番目となっている。

➡改定案3案の中で改定案③(平準化)が少～大量各利用者の負担の増加について、最もバランスよく配慮できている。

【参考】水道料金改定案の大都市比較(20政令市+東京都の21都市)

大都市水道料金の比較(税込み・1か月・2025年4月1日現在)※浜松市と名古屋市は2025年10月改定予定分

(単位:円)

20mm/10m ³			20mm/20m ³			25mm/100m ³			40mm/500m ³			50mm/1,000m ³			75mm/5,000m ³		
順位	都市名	水道料金	順位	都市名	水道料金	順位	都市名	水道料金	順位	都市名	水道料金	順位	都市名	水道料金	順位	都市名	水道料金
1	新潟市	3,575	1	新潟市	5,005	1	福岡市	34,749	1	福岡市	245,938	1	福岡市	530,486	1	福岡市	2,957,746
2	仙台市	2,255	2	仙台市	4,290	2	札幌市	34,045	2	千葉市	213,900	2	千葉市	465,310	2	横浜市	2,470,820
3	岡山市	1,738	3	札幌市	3,652	3	千葉市	30,910	3	さいたま市	203,720	3	さいたま市	446,710	3	千葉市	2,426,280
4	福岡市	1,650	4	さいたま市	3,498	4	さいたま市	30,525	4	横浜市	202,895	4	横浜市	433,455	4	相模原市	2,302,830
-	①一律案	1,646	5	岡山市	3,366	5	横浜市	30,412	5	札幌市	198,110	5	東京都	431,992	5	さいたま市	2,237,840
5	千葉市	1,600	6	福岡市	3,355	6	名古屋市	27,808	6	神戸市	186,615	6	札幌市	403,700	6	東京都	2,236,985
6	さいたま市	1,573	7	千葉市	3,250	7	相模原市	27,474	7	東京都	186,521	7	神戸市	393,855	7	神戸市	2,152,425
-	③平準化案	1,549	8	名古屋市	3,124	8	堺市	25,740	8	名古屋市	179,663	8	名古屋市	368,885	8	札幌市	2,085,600
7	熊本市	1,529	9	横浜市	3,017	9	仙台市	24,970	9	相模原市	175,641	9	相模原市	356,932	9	大阪市	1,928,212
7	名古屋市	1,529	10	京都市	3,014	10	広島市	24,623	10	堺市	165,220	10	大阪市	353,012	10	川崎市	1,921,518
-	②逡増案	1,502	10	熊本市	3,014	11	神戸市	24,475	11	大阪市	164,912	11	川崎市	350,718	11	名古屋市	1,846,504
9	浜松市	1,485	-	①一律案	2,999	12	岡山市	23,232	12	仙台市	162,855	12	堺市	347,820	12	堺市	1,819,620
10	札幌市	1,452	12	相模原市	2,988	13	川崎市	22,918	13	川崎市	162,068	13	仙台市	339,845	13	広島市	1,727,055
11	静岡市	1,430	13	神戸市	2,926	14	京都市	22,033	14	広島市	160,902	14	広島市	336,050	14	仙台市	1,718,585
12	東京都	1,408	-	③平準化案	2,825	15	熊本市	21,824	15	熊本市	143,935	15	熊本市	308,385	15	北九州市	1,683,165
13	相模原市	1,333	14	東京都	2,816	-	②逡増案	21,252	16	北九州市	141,955	16	北九州市	306,229	16	熊本市	1,591,535
14	堺市	1,122	-	②逡増案	2,745	16	東京都	21,087	17	岡山市	136,180	17	京都市	292,820	17	京都市	1,550,351
15	神戸市	1,111	15	浜松市	2,706	17	新潟市	20,812	18	京都市	128,051	18	岡山市	280,500	-	②逡増案	1,431,993
16	北九州市	1,100	16	静岡市	2,607	18	浜松市	20,713	-	②逡増案	128,026	-	②逡増案	274,564	18	岡山市	1,411,850
17	横浜市	1,070	17	堺市	2,464	-	③平準化案	20,570	19	浜松市	123,475	-	③平準化案	257,974	-	③平準化案	1,322,721
18	京都市	1,067	18	広島市	2,453	19	大阪市	19,822	-	③平準化案	122,030	19	浜松市	256,113	19	浜松市	1,288,804
19	大阪市	1,045	19	北九州市	2,442	-	①一律案	19,242	20	新潟市	117,403	20	新潟市	244,222	-	①一律案	1,237,716
20	広島市	946	20	川崎市	2,321	20	北九州市	19,239	-	①一律案	114,137	-	①一律案	241,210	20	新潟市	1,227,424
21	川崎市	792	21	大阪市	2,112	21	静岡市	16,698	21	静岡市	99,000	21	静岡市	209,132	21	静岡市	1,072,775

【参考】水道料金の県内比較

静岡県内水道料金の比較(税込み・1か月・2025年4月1日現在)※浜松市は2025年10月改定予定分

(単位:円)

20mm/10m ³			20mm/20m ³			25mm/100m ³			40mm/500m ³			50mm/1,000m ³			75mm/5,000m ³		
順位	都市名	水道料金	順位	都市名	水道料金	順位	都市名	水道料金	順位	都市名	水道料金	順位	都市名	水道料金	順位	都市名	水道料金
1	熱海市	3,008	1	下田市	4,426	1	菊川市	21,310	-	②逡増案	128,026	-	②逡増案	274,564	-	②逡増案	1,431,993
2	下田市	2,945	2	湖西市	4,003	-	②逡増案	21,252	1	浜松市	123,475	-	③平準化案	257,974	-	③平準化案	1,322,721
3	湖西市	2,514	3	沼津市	3,880	2	牧之原市	20,828	2	下田市	122,241	1	浜松市	256,113	1	浜松市	1,288,804
4	沼津市	2,280	4	牧之原市	3,685	3	浜松市	20,713	-	③平準化案	122,030	2	下田市	249,882	2	下田市	1,249,520
5	袋井市	1,980	5	菊川市	3,640	4	掛川市	20,677	3	菊川市	121,960	3	菊川市	247,040	3	菊川市	1,238,240
6	伊豆市	1,952	6	袋井市	3,630	-	③平準化案	20,570	-	①一律案	114,137	-	①一律案	241,210	-	①一律案	1,237,716
7	富士市	1,925	7	掛川市	3,299	5	湖西市	20,554	4	掛川市	113,076	4	湖西市	228,787	4	湖西市	1,153,327
8	牧之原市	1,760	8	熱海市	3,008	6	下田市	20,202	5	湖西市	110,319	5	掛川市	227,894	5	掛川市	1,136,486
9	菊川市	1,650	-	①一律案	2,999	7	袋井市	19,855	6	牧之原市	108,564	6	牧之原市	219,587	6	牧之原市	1,087,597
-	①一律案	1,646	9	伊豆市	2,922	-	①一律案	19,242	7	伊東市	107,858	7	伊東市	212,908	7	静岡市	1,072,775
10	磐田市	1,559	-	③平準化案	2,825	8	伊東市	18,548	8	御殿場市	101,990	8	静岡市	209,132	8	伊東市	1,061,877
-	③平準化案	1,549	10	富士市	2,805	9	磐田市	17,908	9	磐田市	101,343	9	熱海市	205,662	9	熱海市	1,041,757
-	②逡増案	1,502	11	磐田市	2,802	10	熱海市	17,524	10	熱海市	101,135	10	御殿場市	205,440	10	御殿場市	1,013,230
11	浜松市	1,485	12	藤枝市	2,750	11	静岡市	16,698	11	裾野市	99,770	11	磐田市	202,873	11	裾野市	995,720
12	掛川市	1,466	-	②逡増案	2,745	12	沼津市	16,679	12	袋井市	99,110	12	裾野市	200,420	12	磐田市	993,003
13	静岡市	1,430	13	御前崎市	2,739	13	御前崎市	16,610	13	静岡市	99,000	13	袋井市	197,670	13	袋井市	967,340
14	御殿場市	1,350	14	浜松市	2,706	14	藤枝市	15,664	14	御前崎市	92,444	14	御前崎市	187,187	14	御前崎市	938,256
15	藤枝市	1,342	15	島田市	2,695	15	裾野市	14,685	15	藤枝市	90,486	15	藤枝市	184,052	15	藤枝市	915,233
15	伊豆の国市	1,342	16	御殿場市	2,610	16	御殿場市	14,310	16	沼津市	83,897	16	沼津市	167,095	16	沼津市	814,975
17	島田市	1,265	17	静岡市	2,607	17	島田市	14,245	17	焼津市	76,384	17	焼津市	155,100	17	三島市	778,100
18	御前崎市	1,177	18	裾野市	2,585	18	三島市	13,780	18	三島市	76,360	18	三島市	153,910	18	焼津市	761,860
19	裾野市	1,100	19	伊東市	2,367	19	焼津市	13,200	19	島田市	72,325	19	島田市	145,035	19	島田市	719,290
20	焼津市	1,078	20	三島市	2,190	20	富士市	12,727	20	富士市	69,971	20	富士市	139,205	20	富士市	680,625
21	伊東市	1,037	21	焼津市	2,112	21	富士宮市	11,880	21	富士宮市	65,450	21	富士宮市	130,900	21	富士宮市	646,580
22	三島市	940	22	伊豆の国市	2,013	22	伊豆市	11,664	22	伊豆市	56,030	22	伊豆市	108,341	22	伊豆市	511,311
23	富士宮市	825	23	富士宮市	1,897	23	伊豆の国市	8,195	23	伊豆の国市	43,494	23	伊豆の国市	95,634	23	伊豆の国市	500,610

3. 下水道使用料の設定案

下水道使用料改定案（詳細：資料4－5参照）

・**案1(一律案)**：基本使用料及び従量使用料の現行単価に一律に平均改定率を増加させたもの

- 【メリット】 一律改定のため、口径・使用水量にかかわらず同じ率の負担増であり、全ての利用者の負担が増加することから、一定の公平感がある。
- 【デメリット】 現行使用料から利用者間のバランスは解消されず、他都市と比べ、少量利用者は高め、中大量利用者は安めの金額となる。

・**案2(逡増案)**：基本使用料の改定額を抑えつつ、従量使用料は使用水量が増えるほど改定額を増加させたもの

- 【メリット】 少量利用者の改定率を抑えつつ、他都市より安い中・大量利用者の負担が増加することから、利用者間の負担バランスを解消でき、現行よりは公平感のある使用料水準となっている。
- 【デメリット】 使用水量が多いほど、値上げ額が大きくなるため、改定案3案の中で大量利用者の負担が最も大きい。

・**案3(従量2段階平準化案)**：基本使用料をやや抑えつつ、従量使用料は20m³以下と、20m³超で、おおむね2段階で改定額を増加させたもの

- 【メリット】 少量利用者の改定率を抑えつつ、他都市より安い中・大量利用者の負担が増加することから、利用者間の負担バランスを一定程度、解消することができる。
改定案2より、中・大量利用者の負担が少ない。
- 【デメリット】 改定案2より、少量利用者の負担がやや大きい。

・事務局案【案3】

理由 少～大量各利用者の負担の増加について、配慮しながらも利用者間の負担バランスを一定程度、解消できているため。

3. 下水道使用料の設定案

●下水道使用料改定案比較（1か月:税込）

区分		少量		中量		大量	
		単身世帯	一般家庭 (2～3人世帯)	飲食店、コンビニ 営業所、店舗	スーパー 事業所	学校、病院、商業施設、 社会福祉施設、大規模事業所	
		10m³	20m³	100m³	500m³	1,000m³	5,000m³
現行料金		1,402円	2,777円	17,517円	104,417円	219,917円	1,187,917円
案1	料金	1,614円	3,198円	20,193円	120,513円	253,613円	1,371,213円
	値上額	212円	421円	2,676円	16,096円	33,696円	183,296円
	改定率	15.1%	15.2%	15.3%	15.4%	15.3%	15.4%
案2	料金	1,471円	2,912円	22,756円	137,816円	294,566円	1,614,566円
	値上額	69円	135円	5,239円	33,399円	74,649円	426,649円
	改定率	4.9%	4.9%	29.9%	32.0%	33.9%	35.9%
案3	料金	1,514円	2,999円	22,216円	132,546円	279,396円	1,511,396円
	値上額	112円	222円	4,699円	28,129円	59,479円	323,479円
	改定率	8.0%	8.0%	26.8%	26.9%	27.0%	27.2%

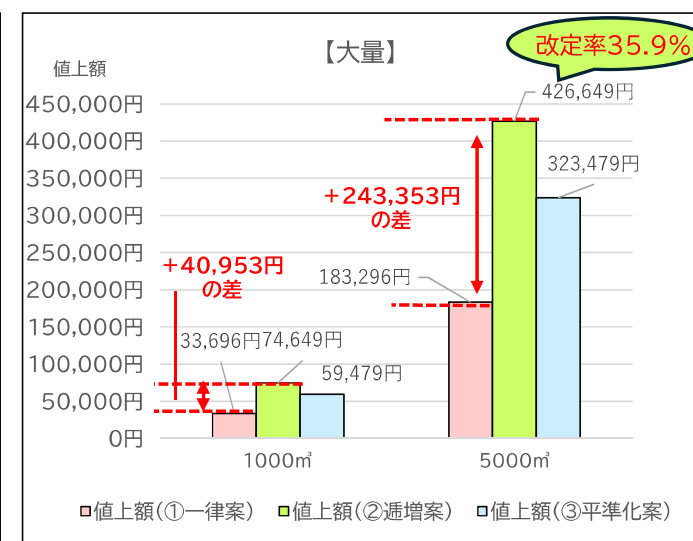
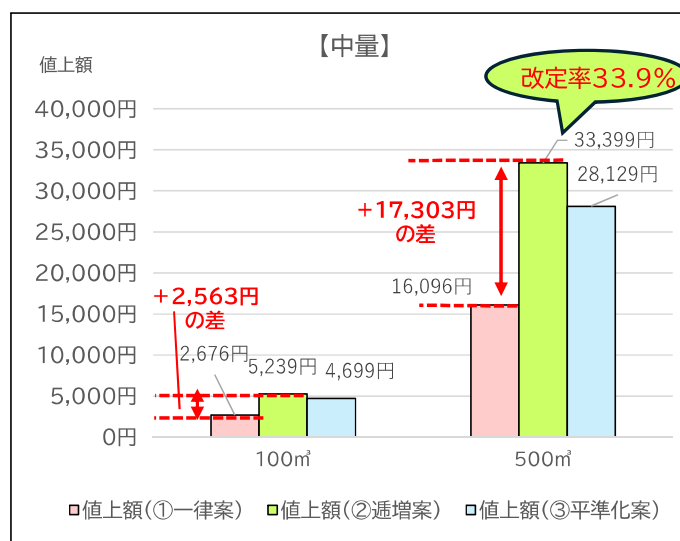
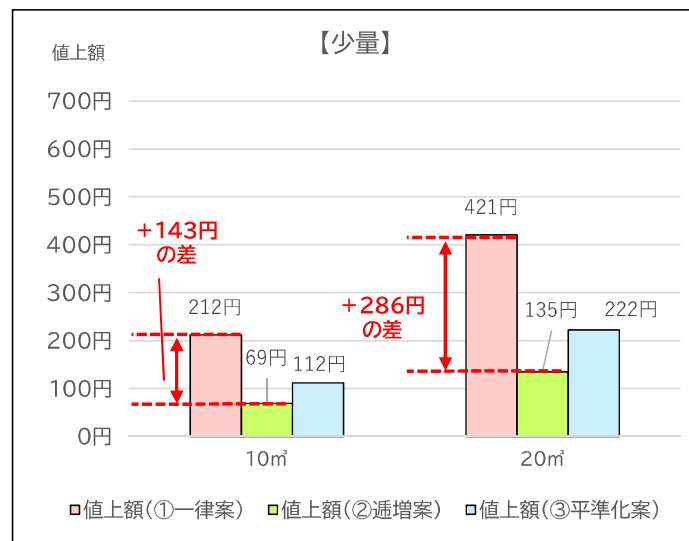
一律

逦増

2段階
平準化

3. 下水道使用料の設定案

●改定案ごとの値上額の比較(1か月:税込)



- ・改定案①(一律案)は3案の中で少量の値上げ額が一番高いが、中・大量の値上げ額は一番低い。
- ・改定案②(逦増案)は3案の中で少量の値上げ額が一番低いが、中・大量の値上げ額は一番高く、改定率が30%を超えている。
- ・改定案③(平準化案)は3案の中で少量、中・大量全ての値上げ額が2番目となっている。

➡改定案3案の中で改定案③(平準化)が少～大量各利用者の負担の増加について、最もバランスよく配慮できている。

【参考】下水道使用料改定案の大都市比較(20政令市＋東京都の21都市)

大都市下水道使用料の比較(税込み・1か月・2025年4月1日現在)※名古屋市は2025年10月改定予定分

(単位:円)

10m ³			20m ³			100m ³			500m ³			1,000m ³			5,000m ³		
順位	都市名	下水道使用料	順位	都市名	下水道使用料	順位	都市名	下水道使用料	順位	都市名	下水道使用料	順位	都市名	下水道使用料	順位	都市名	下水道使用料
1	浜松市	1,661	-	①一律案	3,198	1	広島市	29,491	1	広島市	218,141	1	広島市	477,741	1	広島市	2,655,741
-	①一律案	1,614	1	新潟市	3,047	2	川崎市	25,949	2	川崎市	195,679	2	川崎市	424,589	2	川崎市	2,360,589
-	③平準化案	1,514	2	岡山市	3,011	3	福岡市	25,421	3	福岡市	174,361	3	横浜市	382,976	3	岡山市	2,245,416
-	②逡増案	1,471	-	③平準化案	2,999	4	堺市	24,491	4	堺市	171,891	4	岡山市	379,816	4	福岡市	2,210,461
2	静岡市	1,402	3	浜松市	2,948	5	岡山市	23,636	5	横浜市	169,026	5	福岡市	375,661	5	横浜市	2,180,160
3	新潟市	1,309	-	②逡増案	2,912	6	横浜市	23,606	6	仙台市	164,783	6	仙台市	372,683	6	仙台市	2,159,083
4	堺市	1,281	4	堺市	2,821	7	北九州市	22,878	7	岡山市	164,216	7	堺市	369,891	7	北九州市	2,112,108
5	岡山市	1,273	5	静岡市	2,777	-	②逡増案	22,756	8	北九州市	152,458	8	さいたま市	341,677	8	堺市	2,107,891
6	熊本市	1,036	6	福岡市	2,651	-	③平準化案	22,216	9	さいたま市	148,077	9	北九州市	321,308	9	さいたま市	2,035,677
7	福岡市	979	7	さいたま市	2,459	8	千葉市	20,438	10	千葉市	137,918	10	東京都	303,248	10	千葉市	1,847,868
8	相模原市	963	8	熊本市	2,346	9	名古屋市	20,229	-	②逡増案	137,816	11	千葉市	301,268	11	東京都	1,821,248
9	さいたま市	919	9	広島市	2,260	-	①一律案	20,193	11	東京都	132,748	12	新潟市	300,432	12	新潟市	1,682,032
10	名古屋市	869	10	北九州市	2,248	10	さいたま市	19,817	-	③平準化案	132,546	-	②逡増案	294,566	-	②逡増案	1,614,566
11	東京都	858	11	川崎市	2,156	11	新潟市	19,492	12	名古屋市	132,429	-	③平準化案	279,396	13	熊本市	1,575,792
12	千葉市	814	12	東京都	2,068	12	仙台市	18,813	13	新潟市	127,732	13	名古屋市	275,429	-	③平準化案	1,511,396
13	広島市	786	13	相模原市	2,036	13	東京都	18,348	-	①一律案	120,513	14	熊本市	261,050	14	名古屋市	1,419,429
14	仙台市	773	14	千葉市	2,035	14	熊本市	18,008	14	熊本市	114,387	-	①一律案	253,613	15	神戸市	1,384,075
15	京都市	770	14	横浜市	2,035	15	静岡市	17,517	15	神戸市	106,975	15	神戸市	235,675	-	①一律案	1,371,213
16	川崎市	748	16	京都市	2,013	16	浜松市	16,830	16	静岡市	104,417	16	静岡市	219,917	16	相模原市	1,248,259
17	横浜市	737	17	仙台市	1,917	17	京都市	15,763	17	京都市	102,223	17	京都市	219,373	17	静岡市	1,187,917
18	北九州市	697	18	名古屋市	1,914	18	相模原市	14,499	18	浜松市	98,230	18	浜松市	205,480	18	京都市	1,156,573
19	札幌市	660	19	神戸市	1,760	19	神戸市	14,245	19	相模原市	95,459	19	相模原市	205,459	19	大阪市	1,123,430
19	神戸市	660	20	札幌市	1,397	20	札幌市	11,484	20	札幌市	82,874	20	大阪市	177,430	20	浜松市	1,115,180
21	大阪市	605	21	大阪市	1,276	21	大阪市	11,000	21	大阪市	78,430	21	札幌市	175,274	21	札幌市	1,050,874

【参考】下水道使用料の県内比較

静岡県内下水道使用料の比較(税込み・1か月・2025年4月1日現在)

(単位:円)

10m ³			20m ³			100m ³			500m ³			1,000m ³			5,000m ³		
順位	都市名	下水道使用料	順位	都市名	下水道使用料	順位	都市名	下水道使用料	順位	都市名	下水道使用料	順位	都市名	下水道使用料	順位	都市名	下水道使用料
1	熱海市	3,137	1	熱海市	3,426	-	②逡増案	22,756	-	②逡増案	137,816	-	②逡増案	294,566	-	②逡増案	1,614,566
2	浜松市	1,661	-	①一律案	3,198	-	③平準化案	22,216	-	③平準化案	132,546	-	③平準化案	279,396	-	③平準化案	1,511,396
-	①一律案	1,614	2	湖西市	3,159	-	①一律案	20,193	-	①一律案	120,513	-	①一律案	253,613	-	①一律案	1,371,213
3	伊豆市	1,540	3	掛川市	3,121	1	掛川市	18,488	1	掛川市	105,608	1	静岡市	219,917	1	静岡市	1,187,917
4	湖西市	1,520	4	沼津市	3,090	2	沼津市	18,369	2	静岡市	104,417	2	湖西市	215,945	2	浜松市	1,115,180
5	島田市	1,518	-	③平準化案	2,999	3	湖西市	17,764	3	湖西市	104,185	3	掛川市	214,508	3	湖西市	1,110,025
-	③平準化案	1,514	5	下田市	2,970	4	下田市	17,600	4	下田市	100,100	4	浜松市	205,480	4	掛川市	1,085,708
-	②逡増案	1,471	6	浜松市	2,948	5	静岡市	17,517	5	沼津市	98,771	5	下田市	204,600	5	下田市	1,040,600
6	富士市	1,452	6	島田市	2,948	6	浜松市	16,830	6	浜松市	98,230	6	沼津市	203,271	6	沼津市	1,039,271
7	菊川市	1,450	-	②逡増案	2,912	7	島田市	16,709	7	島田市	97,229	7	島田市	197,879	7	島田市	1,003,079
8	掛川市	1,427	8	菊川市	2,900	8	裾野市	16,673	8	御殿場市	95,040	8	御殿場市	194,040	8	三島市	986,445
9	御殿場市	1,410	9	御殿場市	2,830	9	熱海市	16,386	9	裾野市	94,113	9	裾野市	190,913	9	御殿場市	986,040
10	静岡市	1,402	10	静岡市	2,777	10	三島市	16,108	10	三島市	88,268	10	三島市	188,065	10	裾野市	965,313
11	焼津市	1,323	11	裾野市	2,758	11	御殿場市	15,840	11	袋井市	85,779	11	富士市	173,932	11	熱海市	948,670
12	下田市	1,320	12	伊豆市	2,728	12	袋井市	15,819	12	磐田市	84,747	12	袋井市	173,229	12	富士市	899,932
13	裾野市	1,318	13	富士市	2,662	13	磐田市	15,227	13	熱海市	84,186	13	熱海市	172,686	13	袋井市	872,829
14	磐田市	1,301	14	焼津市	2,654	14	菊川市	15,120	14	富士市	83,182	14	磐田市	171,647	14	藤枝市	871,860
15	沼津市	1,300	15	磐田市	2,632	15	富士市	14,982	15	菊川市	82,880	15	藤枝市	167,860	15	磐田市	866,847
16	伊豆の国市	1,298	16	伊豆の国市	2,596	16	藤枝市	13,860	16	藤枝市	79,860	16	菊川市	167,580	16	菊川市	845,180
17	袋井市	1,139	17	袋井市	2,437	17	焼津市	13,302	17	御前崎市	77,237	17	御前崎市	157,235	17	焼津市	800,682
18	三島市	1,126	18	三島市	2,417	18	御前崎市	13,239	18	焼津市	75,782	18	焼津市	153,882	18	御前崎市	797,215
19	藤枝市	1,100	19	藤枝市	2,310	19	富士宮市	13,123	19	富士宮市	75,163	19	富士宮市	152,713	19	富士宮市	773,113
20	御前崎市	935	20	富士宮市	1,947	20	伊豆の国市	12,980	20	伊豆の国市	64,900	20	伊豆の国市	129,800	20	伊豆の国市	649,000
21	伊東市	880	21	伊東市	1,925	21	伊豆市	12,232	21	伊豆市	59,752	21	伊豆市	119,152	21	伊豆市	594,352
22	富士宮市	847	22	御前崎市	1,904	22	伊東市	10,340	22	伊東市	52,855	22	伊東市	106,205	22	伊東市	533,005

【参考】改定案(水道料金・下水道使用料合算)の大都市比較(20政令市+東京都の21都市)

大都市上下水道料金の比較(税込み・1か月・2025年4月1日現在) ※浜松市(水道料金)と名古屋市(上下水道料金)は2025年10月改定予定分 (単位:円)

20mm/10m ³			20mm/20m ³			25mm/100m ³			40mm/500m ³			50mm/1,000m ³			75mm/5,000m ³		
順位	都市名	上下水道料金	順位	都市名	上下水道料金	順位	都市名	上下水道料金	順位	都市名	上下水道料金	順位	都市名	上下水道料金	順位	都市名	上下水道料金
1	新潟市	4,884	1	新潟市	8,052	1	福岡市	60,170	1	福岡市	420,299	1	福岡市	906,147	1	福岡市	5,168,207
-	①一律案	3,260	2	岡山市	6,377	2	広島市	54,114	2	広島市	379,043	2	横浜市	816,431	2	横浜市	4,650,980
2	浜松市	3,146	3	仙台市	6,207	3	横浜市	54,018	3	横浜市	371,921	3	広島市	813,791	3	広島市	4,382,796
-	③平準化案	3,063	-	①一律案	6,197	4	千葉市	51,348	4	川崎市	357,747	4	さいたま市	788,387	4	川崎市	4,282,107
3	仙台市	3,028	4	福岡市	6,006	5	さいたま市	50,342	5	千葉市	351,818	5	川崎市	775,307	5	千葉市	4,274,148
4	岡山市	3,011	5	さいたま市	5,957	6	堺市	50,231	6	さいたま市	351,797	6	千葉市	766,578	6	さいたま市	4,273,517
-	②逡増案	2,973	-	③平準化案	5,824	7	川崎市	48,867	7	堺市	337,111	7	東京都	735,240	7	東京都	4,058,233
5	静岡市	2,832	-	②逡増案	5,657	8	名古屋市	48,037	8	仙台市	327,638	8	堺市	717,711	8	堺市	3,927,511
6	福岡市	2,629	6	浜松市	5,654	9	岡山市	46,868	9	東京都	319,269	9	仙台市	712,528	9	仙台市	3,877,668
7	熊本市	2,565	7	静岡市	5,384	10	札幌市	45,529	10	名古屋市	312,092	10	岡山市	660,316	10	北九州市	3,795,273
8	さいたま市	2,492	8	熊本市	5,360	-	②逡増案	44,008	11	岡山市	300,396	11	名古屋市	644,314	11	岡山市	3,657,266
9	千葉市	2,414	9	千葉市	5,285	11	仙台市	43,783	12	北九州市	294,413	12	神戸市	629,530	12	相模原市	3,551,089
10	堺市	2,403	9	堺市	5,285	-	③平準化案	42,786	13	神戸市	293,590	13	北九州市	627,537	13	神戸市	3,536,500
11	名古屋市	2,398	11	横浜市	5,052	12	北九州市	42,117	14	札幌市	280,984	14	札幌市	578,974	14	名古屋市	3,265,933
12	相模原市	2,296	12	札幌市	5,049	13	相模原市	41,973	15	相模原市	271,100	15	熊本市	569,435	15	熊本市	3,167,327
13	東京都	2,266	13	名古屋市	5,038	14	新潟市	40,304	-	②逡増案	265,842	-	②逡増案	569,130	16	札幌市	3,136,474
14	札幌市	2,112	14	京都市	5,027	15	熊本市	39,832	16	熊本市	258,322	16	相模原市	562,391	17	大阪市	3,051,642
15	京都市	1,837	15	相模原市	5,024	-	①一律案	39,435	-	③平準化案	254,576	17	新潟市	544,654	-	②逡増案	3,046,559
16	横浜市	1,807	16	東京都	4,884	16	東京都	39,435	17	新潟市	245,135	-	③平準化案	537,370	18	新潟市	2,909,456
17	北九州市	1,797	17	広島市	4,713	17	神戸市	38,720	18	大阪市	243,342	18	大阪市	530,442	-	③平準化案	2,834,117
18	神戸市	1,771	18	北九州市	4,690	18	京都市	37,796	-	①一律案	234,650	19	京都市	512,193	19	京都市	2,706,924
19	広島市	1,732	19	神戸市	4,686	19	浜松市	37,543	19	京都市	230,274	-	①一律案	494,823	-	①一律案	2,608,929
20	大阪市	1,650	20	川崎市	4,477	20	静岡市	34,215	20	浜松市	221,705	20	浜松市	461,593	20	浜松市	2,403,984
21	川崎市	1,540	21	大阪市	3,388	21	大阪市	30,822	21	静岡市	203,417	21	静岡市	429,049	21	静岡市	2,260,692

【参考】水道料金・下水道使用料合算の県内比較

静岡県内上下水道料金の比較(税込み・1か月・2025年4月1日現在)※浜松市(水道料金)は2025年10月改定予定分・牧之原市は水道料金のみ

(単位:円)

20mm/10m ³			20mm/20m ³			25mm/100m ³			40mm/500m ³			50mm/1,000m ³			75mm/5,000m ³		
順位	都市名	上下水道料金	順位	都市名	上下水道料金	順位	都市名	上下水道料金	順位	都市名	上下水道料金	順位	都市名	上下水道料金	順位	都市名	上下水道料金
1	熱海市	6,145	1	下田市	7,396	-	②逡増案	44,008	-	②逡増案	265,842	-	②逡増案	569,130	-	②逡増案	3,046,559
2	下田市	4,265	2	湖西市	7,162	-	③平準化案	42,786	-	③平準化案	254,576	-	③平準化案	537,370	-	③平準化案	2,834,117
3	湖西市	4,034	3	沼津市	6,970	-	①一律案	39,435	-	①一律案	234,650	-	①一律案	494,823	-	①一律案	2,608,929
4	沼津市	3,580	4	菊川市	6,540	1	掛川市	39,165	1	下田市	222,341	1	浜松市	461,593	1	浜松市	2,403,984
5	伊豆市	3,492	5	熱海市	6,434	2	湖西市	38,318	2	浜松市	221,705	2	下田市	454,482	2	下田市	2,290,120
6	富士市	3,377	6	掛川市	6,420	3	下田市	37,802	3	掛川市	218,684	3	湖西市	444,732	3	湖西市	2,263,352
-	①一律案	3,260	-	①一律案	6,197	4	浜松市	37,543	4	湖西市	214,504	4	掛川市	442,402	4	静岡市	2,260,692
7	浜松市	3,146	7	袋井市	6,067	5	菊川市	36,430	5	菊川市	204,840	5	静岡市	429,049	5	掛川市	2,222,194
8	袋井市	3,119	-	③平準化案	5,824	6	袋井市	35,674	6	静岡市	203,417	6	菊川市	414,620	6	菊川市	2,083,420
9	菊川市	3,100	-	②逡増案	5,657	7	沼津市	35,048	7	御殿場市	197,030	7	御殿場市	399,480	7	御殿場市	1,999,270
-	③平準化案	3,063	8	浜松市	5,654	8	静岡市	34,215	8	裾野市	193,883	8	裾野市	391,333	8	熱海市	1,990,427
-	②逡増案	2,973	9	伊豆市	5,650	9	熱海市	33,910	9	磐田市	186,090	9	熱海市	378,348	9	裾野市	1,961,033
10	掛川市	2,893	10	島田市	5,643	10	磐田市	33,135	10	熱海市	185,321	10	磐田市	374,520	10	磐田市	1,859,850
11	磐田市	2,860	11	富士市	5,467	11	裾野市	31,358	11	袋井市	184,889	11	袋井市	370,899	11	沼津市	1,854,246
12	静岡市	2,832	12	御殿場市	5,440	12	島田市	30,954	12	沼津市	182,668	12	沼津市	370,366	12	袋井市	1,840,169
13	島田市	2,783	13	磐田市	5,434	13	御殿場市	30,150	13	藤枝市	170,346	13	藤枝市	351,912	13	藤枝市	1,787,093
14	御殿場市	2,760	14	静岡市	5,384	14	三島市	29,888	14	御前崎市	169,681	14	御前崎市	344,422	14	三島市	1,764,545
15	伊豆の国市	2,640	15	裾野市	5,343	15	御前崎市	29,849	15	島田市	169,554	15	島田市	342,914	15	御前崎市	1,735,471
16	藤枝市	2,442	16	藤枝市	5,060	16	藤枝市	29,524	16	三島市	164,628	16	三島市	341,975	16	島田市	1,722,369
17	裾野市	2,418	17	焼津市	4,766	17	伊東市	28,888	17	伊東市	160,713	17	伊東市	319,113	17	伊東市	1,594,882
18	焼津市	2,401	18	御前崎市	4,643	18	富士市	27,709	18	富士市	153,153	18	富士市	313,137	18	富士市	1,580,557
19	御前崎市	2,112	19	伊豆の国市	4,609	19	焼津市	26,502	19	焼津市	152,166	19	焼津市	308,982	19	焼津市	1,562,542
20	三島市	2,066	20	三島市	4,607	20	富士宮市	25,003	20	富士宮市	140,613	20	富士宮市	283,613	20	富士宮市	1,419,693
21	伊東市	1,917	21	伊東市	4,292	21	伊豆市	23,896	21	伊豆市	115,782	21	伊豆市	227,493	21	伊豆の国市	1,149,610
22	牧之原市	1,760	22	富士宮市	3,844	22	伊豆の国市	21,175	22	牧之原市	108,564	22	伊豆の国市	225,434	22	伊豆市	1,105,663
23	富士宮市	1,672	23	牧之原市	3,685	23	牧之原市	20,828	23	伊豆の国市	108,394	23	牧之原市	219,587	23	牧之原市	1,087,597

【参考】他都市の水道料金改定の状況

※2020年以降改定した(する予定の)都市

・政令指定都市

都市名	直近改定時期	平均改定率	改定周期	備考
横浜市	2021年7月	12%	2年7月	
岡山市	2024年2月 2026年2月	15.7% 20.0%	4年	
神戸市	2024年10月	14%	4年	
相模原市(神奈川県)	2024年10月 2025年10月 2026年10月	16% 19% 22%	4年6月	
新潟市	2025年1月	29%	3年3月	
名古屋市	2025年10月	10%	3年6月	
浜松市	2025年10月	17.9%	5年	

※千葉市(千葉県)、川崎市が現在改定を検討中

・県内都市

都市名	直近改定時期	平均改定率	改定周期	備考
袋井市	2022年4月	11.4%	5年	2026年度からの改定を検討中
御前崎市	2023年4月 2026年4月	14% 14%	3年 3年	2029年にも改定を予定
島田市	2023年4月	8.1%	4年	
富士市	2023年10月	13.01%	4年	
熱海市	2024年4月 2025年4月 2026年4月	10% 5% 4%	3年	
沼津市	2024年7月 2025年1月	35.9%	4年9月	平均改定率は2回の改定後の率
湖西市	2025年4月	10%	5年	

【参考】他都市の下水道使用料改定の状況

※2020年以降改定した(する予定の)都市

・政令指定都市

都市名	直近改定時期	平均改定率	改定周期	備考
神戸市	2020年4月	7%	4年10月	
千葉市	2024年4月	5.4%	2年	2026年度に改定予定
名古屋市	2025年10月	11.5%	3年6月	

※札幌市、川崎市が現在改定を検討中

・県内都市

都市名	直近改定時期	平均改定率	改定周期	備考
裾野市	2021年1月	21.3%	5年	
袋井市	2022年4月	20%	4年	2026年度からの改定を検討中
富士市	2023年10月	0.18%	4年	
伊豆の国市	2023年4月	12.38%	5年	
磐田市	2023年4月	13.9%	5年	
御前崎市	2023年4月 2026年4月	36.4% 25%	3年 3年	
焼津市	2023年7月	17%	5年	
下田市	2024年4月	20.4%	—	
島田市	2024年4月	18.6%	5年	
三島市	2024年4月	28%	6年	
沼津市	2024年7月 2025年1月	20.5%	4年9月	平均改定率は2回の改定後の率
熱海市	2025年4月	11%	4年	

水道料金の改定案について（改定周期3年 平均改定率15.3%）

資料4-4

1:使用水量別の料金比較(税込み・1か月)

- 【改定案① 一律案】：基本料金及び従量料金の現行単価に、一律に平均改定率を増加させたもの
- 【改定案② 逓増案】：基本料金は口径が大きくなるほど改定額を増加し、従量料金は使用水量が増えるほど改定額を増加させたもの
※少量利用者に配慮し、少量利用者の想定月額料金の改定率を平均改定率の1/3（約5%）程度に抑えた。
- 【改定案③ 従量2段階平準化案】：基本料金は口径が大きくなるほど改定額を増加し、
従量料金は20㎡以下と、20㎡超で、おおむね2段階で改定額を増加させたもの
※少量利用者の想定月額料金の改定率を平均改定率の1/2（約8%）程度に抑えたとともに、
大量利用者の想定月額料金の改定率を平均改定率の倍（30%）以下とした。

		少量		中量		大量	
		20mm/10㎡	20mm/20㎡	25mm/100㎡	40mm/500㎡	50mm/1000㎡	75mm/5000㎡
改定案①	現行料金	1,430円	2,607円	16,698円	99,000円	209,132円	1,072,775円
	料金	1,646円	2,999円	19,242円	114,137円	241,210円	1,237,716円
	値上額	216円	392円	2,544円	15,137円	32,078円	164,941円
改定案②	改定率	15.1%	15.0%	15.2%	15.3%	15.3%	15.4%
	料金	1,502円	2,745円	21,252円	128,026円	274,564円	1,431,993円
	値上額	72円	138円	4,554円	29,026円	65,432円	359,218円
改定案③	改定率	5.0%	5.3%	27.3%	29.3%	31.3%	33.5%
	料金	1,549円	2,825円	20,570円	122,030円	257,974円	1,322,721円
	値上額	119円	218円	3,872円	23,030円	48,842円	249,946円
	改定率	8.3%	8.4%	23.2%	23.3%	23.3%	23.3%

口径	13mm	20mm	25mm	40mm	50mm	75mm
給水延戸数※	400,391戸	3,215,987戸	184,380戸	38,420戸	13,913戸	6,657戸
割合	10.4%	83.2%	4.8%	1.0%	0.4%	0.2%

使用水量	10㎡まで	20㎡まで	100㎡まで	500㎡まで	1,000㎡まで	5,000㎡まで
給水延戸数※	1,580,954戸	1,129,593戸	1,123,445戸	22,711戸	2,667戸	1,934戸
割合	40.9%	29.3%	29.1%	0.6%	0.1%	0.1%

※給水延戸数は、2023年度（令和5年度）末時点の総調定戸数

2:単価表

【現行】		水道料金1か月 税込み						
現行料金表	口径	基本料金 (円)	従量料金(円/㎡)					
			1～10㎡	11～20㎡	21～50㎡	51～100㎡	101～500㎡	501㎡～
	13mm	770.0円	66.0円	117.7円	156.2円	181.5円	201.3円	214.5円
	20mm	770.0円						
	25mm	1,100.0円						
	30mm	2,882.0円						
	40mm	2,882.0円						
	50mm	5,764.0円						
	75mm	11,407.0円						
	100mm	20,427.0円						
	150mm	51,722.0円						
	200mm	51,722.0円						
			基本料金と従量料金の割合		基本料金	31.0%	従量料金	69.0%

【改定案① 一律案】

水道料金1か月 税込み																
改定案	口径	基本料金(円) 下段()改定額	従量料金(円/㎡) 下段()改定額													
			1～10㎡	11～20㎡	21～50㎡	51～100㎡	101～500㎡	501㎡～	1001㎡～							
	13mm	887.7円	75.9円	135.3円	180.4円	209.0円	232.1円	247.5円	247.5円							
	20mm	(+ 117.7円)														
	25mm	1,268.3円														
		(+ 168.3円)														
	30mm	3,323.1円														
	40mm	(+ 441.1円)								(+ 9.9円)	(+ 17.6円)	(+ 24.2円)	(+ 27.5円)	(+ 30.8円)	(+ 33.0円)	(+ 33.0円)
	50mm	6,646.2円														
		(+ 882.2円)														
	75mm	13,152.7円														
		(+ 1,745.7円)														
100mm	23,552.1円															
	(+ 3,125.1円)															
150mm	59,635.4円															
200mm	(+ 7,913.4円)															
			基本料金と従量料金の収入割合			基本料金	31.1%	従量料金	68.9%							

【改定案② 逓増案】

水道料金1か月 税込み									
案 定 額	口径	基本料金(円) 下段()改定額	従量料金(円/㎡) 下段()改定額						
			1~10㎡	11~20㎡	21~50㎡	51~100㎡	101~500㎡	501㎡~	1001㎡~
	13mm	842.6円	66.0円	124.3円	201.3円	235.4円	260.7円	282.7円	287.1円
	20mm	(+ 72.6円)							
	25mm	1,540.0円							
		(+ 440.0円)							
	30mm	4,034.8円							
	40mm	(+ 1,152.8円)							
	50mm	9,222.4円							
		(+ 3,458.4円)							
	75mm	18,251.2円							
		(+ 6,844.2円)							
100mm	36,768.6円								
	(+ 16,341.6円)								
150mm	93,099.6円								
200mm	(+ 41,377.6円)								
			基本料金と従量料金の収入割合		基本料金		31.0%	従量料金	69.0%

【改定案③ 従量2段階平準化案】

改定案	水道料金1か月 税込み								
	口径	基本料金(円) 下段()改定額	従量料金(円/㎡) 下段()改定額						
			1～10㎡	11～20㎡	21～50㎡	51～100㎡	101～500㎡	501㎡～	1001㎡～
	13mm	889.9円	66.0円	127.6円	195.8円	226.6円	247.5円	261.8円	264.0円
	20mm	(+ 119.9円)							
	25mm	1,430.0円							
		(+ 330.0円)							
	30mm	3,890.7円							
	40mm	(+ 1,008.7円)							
		(+ 0.0円)							
		(+ 9.9円)							
		(+ 39.6円)							
	(+ 45.1円)								
	(+ 46.2円)								
	(+ 47.3円)								
	(+ 49.5円)								
50mm	(+ 3,170.2円)								
	(+ 17,681.4円)								
75mm	(+ 6,274.4円)								
	(+ 31,662.4円)								
100mm	(+ 11,235.4円)								
150mm	80,169.1円								
200mm	(+ 28,447.1円)								
			基本料金と従量料金の収入割合		基本料金		32.1%	従量料金	67.9%

下水道使用料の改定案について（改定周期3年 平均改定率15.2％）

資料4－5

1:使用水量別の使用料比較(税込み・1か月)

- 【改定案① 一律案】：基本使用料及び従量使用料の現行単価に一律に平均改定率を増加させたもの
- 【改定案② 逓増案】：基本使用料の改定額を抑えつつ、従量使用料は使用水量が増えるほど改定額を増加させたもの
※少量利用者に配慮し、少量利用者の想定月額料金の改定率を平均改定率の1/3（約5％）程度に抑えた。
- 【改定案③ 従量2段階平準化案】：基本使用料をやや抑えつつ、従量使用料は20㎡以下と、20㎡超で、おおむね2段階で改定額を増加させたもの
※少量利用者の想定月額料金の改定率を平均改定率の1/2（約8％）程度に抑えるとともに、大量利用者の想定月額料金の改定率を平均改定率の倍（30％）以下とした。

		少量		中量		大量			
		水量	10㎡	20㎡	100㎡	500㎡	1,000㎡	5,000㎡	
改定案①	現行	使用料	1,402円	2,777円	17,517円	104,417円	219,917円	1,187,917円	
	一律（案）	使用料	1,614円	3,198円	20,193円	120,513円	253,613円	1,371,213円	
		値上額	212円	421円	2,676円	16,096円	33,696円	183,296円	
		改定率	15.1%	15.2%	15.3%	15.4%	15.3%	15.4%	
	逓増（案）	使用料	1,471円	2,912円	22,756円	137,816円	294,566円	1,614,566円	
		値上額	69円	135円	5,239円	33,399円	74,649円	426,649円	
		改定率	4.9%	4.9%	29.9%	32.0%	33.9%	35.9%	
	改定案②	平準化（案）	使用料	1,514円	2,999円	22,216円	132,546円	279,396円	1,511,396円
			値上額	112円	222円	4,699円	28,129円	59,479円	323,479円
			改定率	8.0%	8.0%	26.8%	26.9%	27.0%	27.2%

排水量	10㎡まで	20㎡まで	100㎡まで	500㎡まで	1,000㎡まで	5,000㎡まで
排水延戸数※	1,180,415戸	1,085,060戸	975,440戸	19,813戸	2,582戸	1,695戸
割合	36.2%	33.2%	29.9%	0.6%	0.1%	0.1%

※排水延戸数は、2023年度(令和5年度)末時点の総調定戸数

2:単価表

【現行】

現行	下水道使用料1か月 税込み									
	基本使用料 (円)	従量使用料(円/㎡)								
		0～10	11～20	21～30	31～50	51～100	101～200	201～500	501～1000	
	1,017.5円	38.5円	137.5円	159.5円	176.0円	192.5円	209.0円	220.0円	231.0円	242.0円
	基本使用料と従量使用料の割合						基本使用料	33.7%	従量使用料	66.3%

【改定案① 一律案】

改定案	下水道使用料1か月 税込み										
	基本使用料 (円)		従量使用料(円/㎡)								
			少量		中量					大量	
					0～10	11～20	21～30	31～50	51～100	101～200	201～500
	1,174.8円	44.0円	158.4円	183.7円	202.4円	222.2円	240.9円	254.1円	266.2円	279.4円	
改定額	+157.3円	+5.5円	+20.9円	+24.2円	+26.4円	+29.7円	+31.9円	+34.1円	+35.2円	+37.4円	
			基本使用料と従量使用料の割合					基本使用料	33.7%	従量使用料	66.3%

【改定案② 逓増案】

改定案	下水道使用料1か月 税込み										
	基本使用料 (円)	従量使用料(円/㎡)									
		少量		中量				大量			
		0～10	11～20	21～30	31～50	51～100	101～200	201～500	501～1000		1001～
		1,086.8円	38.5円	144.1円	213.4円	236.5円	259.6円	276.1円	291.5円		313.5円
改定額	+69.3円	+0.0円	+6.6円	+53.9円	+60.5円	+67.1円	+67.1円	+71.5円	+82.5円	+88.0円	
	基本使用料と従量使用料の割合					基本使用料	31.2%	従量使用料	68.8%		

【改定案③ 従量2段階平準化案】

改定案	下水道使用料1か月 税込み										
	基本使用料 (円)		従量使用料(円/㎡)								
			少量		中量				大量		
			0～10	11～20	21～30	31～50	51～100	101～200	201～500	501～1000	1001～
	1,129.7円	38.5円	148.5円	204.6円	228.8円	251.9円	265.1円	279.4円	293.7円	308.0円	
改定額	+112.2円	+0.0円	+11.0円	+45.1円	+52.8円	+59.4円	+56.1円	+59.4円	+62.7円	+66.0円	
		基本使用料と従量使用料の割合					基本使用料	32.5%	従量使用料	67.5%	

第2回協議会(7/25)議題等にかかる 御質問・回答、御意見 まとめ

令和7年8月29日
令和7年度 第3回 静岡市上下水道事業経営協議会

令和7年度 第2回上下水道事業経営協議会 御質問への回答

No.	議事	御質問	回答
1	(2)水道料金・下水道使用料改定について	(会議内質疑より)国交省の建設工事費デフレーターは、将来的な見込みまで出ているものか、それともただ過去のデータをもとにしたものなのか確認したい。	下水道計画課・上下水道経理課
			国土交通省の建設工事費デフレーターは、将来的な見込みが出ているものではなく、建設工事費が近年どれくらい上昇しているのかという過去の推移を表したデータです。 なお、当データは国内の建設工事全般を対象としており、建設工事価格(労務費、資材費など)の変動を把握するための重要な指標となっております。 (また、今後の投資・財政計画における見込み額を算出するにあたり、名古屋市や広島市、北九州市といった大都市でもこのデータを活用しております。)
2	(1)第5次中期経営計画の改定について	改定概要p9 (水道管・施設の漏水対策) AI技術の活用により、従来の方法のデータ収集に比べ、どれだけの費用対効果が明確化したかお示ください。AI技術の活用により、従来の方法のデータ収集に比べ、どれだけの費用対効果が明確化したかお示ください。	水道建設・維持課
			これまでは、調査区域を市内全域(2,477km)とし、路面音聴調査のみの調査を実施してきた。新たな技術の導入として、衛星データ等をAI解析により水道管の漏水リスクを評価する業務を令和6年度に行い、その結果を基に漏水リスクの高い箇所に調査範囲を絞り込み、漏水調査の効率化とコスト削減に取り組みました。 令和5年度には1km当り0.12件の漏水発見に対し、令和6年度は1km当り0.19件の漏水発見となり、漏水発見割合が約1.5倍となり効率的な漏水調査と令和5年度と比べ約4,000万円のコスト削減が図れました

令和7年度 第2回上下水道事業経営協議会 御質問への回答

No.	議事	御質問	回答
3	(2)水道料金・下水道使用料改定について	資料2-2 p6 財源試算表について、水道・下水道を比べると当然といえるところもあるかもしれませんが、数字のバランスがよくわかりません。例えば、下水道は水道に比べ耐震化対策は約半分弱、留保資金は1.3倍ほどです。そのあたりの理由を教えてください。	上下水道経理課
			【耐震化対策について】 耐震化対策の事業費が異なる理由は、これまで上下水道それぞれの計画に基づき耐震化を進めてきたことにより進捗状況が異なるためです。 水道事業については、管路・施設の耐震化を、供給する水量、断水による影響の大きさ、老朽化などの要素を評価し、『給水区域全体の面的整備』を実施してきましたが、耐震化率は全国に比べ低い水準にとどまっています。 下水道については、管路の耐震化は、重要な下水道管(緊急輸送路下に埋設されている管や防災拠点と浄化センターを繋ぐ管など)の耐震化を優先的に進めており、耐震化率は高い水準にあります。一方、施設の耐震化は、耐震診断から工事まで長期間を要する上、多額の事業費が必要となることから実施には至っておらず、耐震化率はゼロという状況です。 このような上下水道それぞれの現状を踏まえ、今後の耐震化対策にかかる事業費を試算した結果、下水道は水道に比べ約半分の事業費となっています。 【留保資金について】 下水道が水道に比べ、留保資金が多い理由は雨水事業を行っていること等により、水道事業より事業規模が大きいからです。 下水道は水道事業と比較し、耐震化対策以外の投資費用(②老朽化対策等、③企業債償還)が多くかかっています。そのため、水道事業より多くの財源が必要となり、下水道使用料以外の財源の各項目は水道事業より多くなっています。
4	(2)水道料金・下水道使用料改定について	p11 5年ごとの周期のデメリットとして社会状況の急変に対応が困難とありますが、3年ごとだと対応が容易だということでしょうか。そうだとすれば改定率が3年ごと一律15%と表現することに矛盾が出てきます。	上下水道経理課
			改定周期について、3年と5年を比べた際に3年の方が改定周期が短くなるため、5年の場合より社会状況の急変に対応がしやすくなります。(あくまで3年と5年で比べた場合にということになります。) お示した3年ごと一律15%については、投資・財政計画に基づき15年間の財源必要額を各回同じ改定率で分割したモデルとなります。 ご指摘のとおり社会状況の急変等により投資・財政計画の変更がある場合には、改定率が変わることになり今後、改定周期ごとに社会状況を踏まえ、その都度見直していく予定です。

令和7年度 第2回上下水道事業経営協議会 御質問への回答

No.	議事	御質問	回答
5	(1)第5次中期経営計画の改定について	「静岡市水道施設中長期更新計画」は「静岡市上下水道耐震化計画」に吸収されたという理解でよろしいでしょうか？	水道計画課
			「水道施設中長期更新計画」は、水道事業で所有する資産(水道管や水道施設)の状況を適切に把握し、中長期的な視点での施設・設備・管路の整備(更新)量を予測した上で、財政面の見通しを踏まえた資産の更新計画で、計画的かつ効果的な資産管理を行うことを目的に策定したものです。 そのため、老朽化対策、耐震化、ブロック化、効率化などさまざまな目的の更新事業を含んだ資産管理(アセットマネジメント)計画になっています。 一方で、「静岡市上下水道耐震化計画」は、そのうち耐震化を目的に実施する整備事業について、対象管路・対象施設・目標年度・事業費などを定めた短期の具体的な計画になります。これまで重要な管路(導水管・送水管・配水本管)や被災後に確保できる貯水量(耐震化された配水池容量)を計画の対象としていたが、能登半島地震を教訓に、水源から重要給水拠点につながる施設・管路及び下水処理する施設までを線的につなげるように耐震化する計画に見直しを行いました。
6	(2)水道料金・下水道使用料改定について	「1静岡市水道料金・下水道使用料改定の経緯(P2)」において次の記載があります。 「「2035年の目指す姿」を、災害時においても災害拠点病院、災害対策本部、中学校区一箇所の(給水拠点)にて給排水ができる状態とし、2036年以降は各地区の給水拠点を増やし、2040年には小学校区に最低一箇所の避難所(給水拠点)において給排水ができる状態とすることとしました。」 この「2035年の目指す姿」はかなり具体的な将来ビジョンを示されたものになりますが、「しずおか水ビジョン」とはどのような関係(位置づけ)になるのでしょうか？	上下水道経営企画課
			「2035年の目指す姿」は、令和6(2024)年1月に発生した能登半島地震の状況を踏まえ、令和6(2024)年度に設置した「上下水道経営管理チーム」の取組の中で議論し、静岡市として決定したものです。 「しずおか水ビジョン」は静岡市の上下水道事業が長期的に目指す姿を示すものであり、今回決定した内容は、基本構想で掲げる「危機管理を強化する」に位置付けられるものですが、具体的な内容については、この基本構想の実現に向けて定める「経営戦略」や、具体的な事務事業を示す「中期経営計画」の見直しを行う中で反映していきます。

(1)第5次中期経営計画の改定について

No.	御意見
1	改定概要p2 5-1 (2)内部ハザードマップの周知(削除)となっていますが、新たな事務事業を設けるために本事務事業から「下水道施設の津波対策」に関する内容を削除するとありますが、これは削除という意味合いではなく、移行という表現が適切ではないかと思います。おのずと成果指標も変わってくるのではないのでしょうか。
2	選択的線的耐震化は、新たな視点を取り入れた優れた考え方だと思います。 重要施設と管路について図や写真などの視覚的な資料があれば、より理解され易くなると考えます。
3	重要箇所等でできますが、どこなのか、わかりません。 工事期間や場所、迂回等いつもギリギリに周知されるので、半年前に一度周知、3ヶ月前に書面等で周知1ヶ月前に再度周知してくださると助かると思う 勉強不足ですみません。
4	命に直結する水の重要性は認識しているつもりです、その為には水道管の耐震化を促進し、市民の日常生活に支障をきたすことのないよう、早めの対応策を講ずべき！
5	平常時も強化しつつ、大災害を見据えての転換に感謝です。

(2)水道料金・下水道使用料改定について

No.	御意見
1	耐震化及び老朽化対策のために料金改定は必要不可欠であると思います。 改定周期に関する具体的な意見はありません。 参考資料の他都市との比較は、口径別および水量別の改定率算定における重要な根拠となると考えます。
2	水道料金が値上がりするのは仕方がないと思いますが、数年おきの値上がりよりは5年(ごと)の値上がり1回の方がいいです。不景気のなかでの値上がりはホントに(家計が)逼迫するとおもいます。
3	水道水の安定供給無くして、市民生活は成り立ちません、これからの人口減少を踏まえれば、料金改定は止むを得ないとかんがえます、同時に中量、大量使用者への改定に着手すべきだと思う。
4	水道事業で稼ぐ方策がないものか、検討してもよいのでは？
5	全ての物価が上がっている中、価格改定を理解できても、お財布事情が厳しい方々が多くいらっしゃるのが現実だと思います。世代間の公平を考慮していただく案、お手間かけますが、この様な対応が良いのかも…悩ましいです。

その他意見・質問

No.	御意見
1	昨今の諸物価の高騰も踏まえ、今回の料金改定は市民にかなり複雑な気持ちで受容されるのではないかと懸念されます。協議会でも十分にさらに慎重な審議をして、市民目線で明確な理解認識が得られるように努めてまいりたいと思います。
2	今回このような機会を与えていただくまでは上下水に対しての興味や思いがありませんでした。 今後、できる限り勉強して、理解できたらとおもいます。
3	市民委員でもわかるように、資料がいずれも丁寧かつわかりやすく理解しやすかったです。 また、協議会後の懇親会を計画していただき感謝申し上げます。フラットに関係者の皆さまとお話しでき、様々なご事情もわかったりと、より深く考えれるようになれました。